

羽ばたこう 明日へ

令和3年3月発行 第19号



酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会（サッカー）



酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会（野球）



酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会（バレーボール）



酒田市スポーツ少年団本部指導者研修会

令和3年度の事業についても例年通りに計画しておりますが、感染症対策に気を配りながらの活動となります。新型コロナウイルスのワクチン接種も始まるようですが、対象が16歳以上となっており、ほとんどの団員が対象外であることに不安は拭えません。指導者及び保護者の皆様におかれましては、引き続き感染症対策にご協力をお願いします。

団員の皆さんには、思うようなスポーツ活動を提供できなかったことを残念に思います。この経験が、皆さんの今後の人生に活かされることを願うばかりです。

今後とも、スポーツ少年団の理念である「スポーツを通して青少年のこころとからだを鍛える」「スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する」をモットーに活動してくださるようお願いいたします。

昨年2月頃から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度末から今年度はじめにかけて各団には活動の自粛・休止をお願いし、現在も活動の際には手洗いやマスクの着用、消毒等の徹底にご協力いただいております。おかげさまでスポーツ少年団活動でのクラスターは発生せず、夏の酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会も無事に開催することができました。これも皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。



酒田市スポーツ少年団本部

本部長 齋藤 勉

本部長あいさつ

「夢」をかなへ「若く強く、強く反撃せよ」「戦士の魂を手に」



酒田市小学校体育連盟会長
(酒田市立田沢小学校校長)

出 嶋 幸

スポーツ少年団で指導にあたっていただいている皆様、運営に関わっている役員、保護者の皆様方には、スポーツを通して子ども達の心身の健全育成にご尽力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、学校の臨時休業が長く続きました。そして、スポーツ少年団の活動においても、その時の状況によって多くの制限があり、友達と一緒に練習(運動)ができません、ストレスや寂しさ、悔しさ等々、言葉では言い表せないくらい思いを抱えた1年間であったと思います。

来年度は、新型コロナウイルス感染症が終息し、全ての種目が以前のように練習や大会が行われるようになることを願っています。

さて、この原稿を書いている最中に「全豪オープンテニス」が開催されています。2年振りに優勝を狙う大坂なおみ選手も順調に勝ち上がり、その期待は増すばかりです。2年前のこの大会で初優勝した大坂選手のゲーム中の姿勢から、私がか心を動かされたことを紹介します。

大坂選手は、世界トップレベルの技術を持ちながらも、「感情のコントロール」がうまくできなくなり、負けてしまうことも多くありました。しかし、この大会は違っていました。自分のプレーがうまくいかず、「イライラ」したり「ストレス」が溜まってきても「感情をコントロール」して、「自分を捨てずに」粘り強くプレーを続けました。そして、幾度となく難しいボールが飛んできて諦めずにボールを追いつけ、世界ナンバーワンになる「夢」を叶えたのです。

また大坂選手は、自分がミスをしたり相手にポイントを取られて負けそうになった場面で、胸の前で小さく「ガッツポーズ」をしていました。劣勢の場面でなぜガッツポーズをするのか、大坂選手は苦しい場面で、諦めがちな気持ちを断ち切るために、「まだ行ける」「負けない」と、自分の気持ちを奮い立たせていたのです。相手にいくら打たれても追いつける姿や、自分の力を信じ、モチベーションを上げていくための行動、私はその場面に涙が出るほど感動しました。

スポーツ少年団に加入している団員の皆さん、大坂選手のように自分を成長させる大きな「夢」を持ち、その達成に向けて、諦めずに力強く挑戦してください。

そして、指導してくれる方々や、応援してくれる皆さんに感動を与えられる選手になってください。皆さんの今後の活躍を期待しています。

スポーツ少年団の理念に立ち返る



庄内教育事務所社会教育課
社会体育主事

大 谷 克 巳

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スポーツ少年団活動を行うことができない状況からのスタートになりました。現在も感染対策を講じて活動いただいていることに感謝申し上げます。コロナ禍の今だからこそ、スポーツ少年団の3つの理念に立ち返り活動することが大切ではないかと考えました。

①一人でも多くの青少年に

スポーツの喜びを提供する

子ども達がスポーツに出会う時期は、ルールにこだわらず、子ども達の自発的な運動を育むような環境づくりや仕掛けが必要です。運動が得意ではない子ども達にとっても楽しく興味が持てる活動プログラムを提供することがスポーツの喜びにつながります。その経験が、生涯に渡って運動に親しむ基本になると考えられます。日本スポーツ少年団が普及を目指しているアクティブ・チャイルド・プログラムを参考にして、身体的・精神的に無理がなく意欲をもって参加できる活動を取り入れるのも良いかと思えます。

②スポーツを通して青少年の

こころとからだを育てる

スポーツ少年団はリーダーの育成にも力を入れています。小学校を卒業したら

スポ少が終わるのではなく、さらにリーダーとして上を目指し、継続していく道筋を準備していただきたいと思えます。

③スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する

スポーツ少年団では主となるスポーツ活動に加え、社会活動(美化活動・奉仕活動)やレクリエーション活動、文化・学習活動など様々な活動を行っています。その活動を地域の方々に発信してはいかがでしょうか。スポーツ少年団と地域の方々の距離が縮まり、新たな交流が生まれるかもしれません。現在、コロナ禍にあります。指導者、保護者、団員、地域の方々が知恵を出し合い、どんな活動ができるかを共に考える機会と捉え連携していくことが、地域の人同士のつながりや地域づくり、スポーツの振興にもつながると考えられます。

長きに渡り、「青少年の健全育成」を目的にスポーツ少年団の運営や指導にご尽力いただいている指導者の皆様、スポーツ少年団活動に関わる多くの皆様に敬意を表すとともに、酒田市スポーツ少年団の益々の発展を心より祈念申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「スポ根」時代の指導方法からの脱却

バレーボール専門部会長 武田 正祐

酒田地区の小学生バレーボールチームは、現在、男子2チーム、女子11チームが登録しています。過去には最大男子6チーム、女子18チームの登録がありました。が、学校の統合や生徒の減少で少しずつチーム数が減ってきています。このような状況でも、バレーボール専門部会では各指導者が知恵を出し合い、バレーボールの普及と指導に力を注いでいます。

その一つとして、毎年、地元の実業団バレーボールチームの協力のもと指導者講習会を開催しています。その歴史は平成9年の旧山形しあわせ銀行バレーボール部から始まり、現在はブレステージ・インターナショナルアランマレーより、子ども達にも指導していただきながら、指導方法、体のケア、テーピングの使用方法など、様々な事を吸収しています。子ども達は実業団の選手とパスをしたり、ゲームをしてもらったりと、喜んでボールを追いかけいています。そして、講習の最後にはサインをいただき、子どもも指導者も一日を満喫してバレーボールに親しんでいます。

バレーボール専門部会としていつも心掛けていることが、「体罰・暴言のない指導」です。以前は暴言による問題がありました。ここで一つ勝手ながら私の感じていることを少しお話ししたいと思います。私が指導を始めた昭和50年代から、もう40年が過ぎようとしています。教える側も教えられる側もスポーツへの取り組み方が変わり、時の流れを感じる今日この頃です。私のように古いや保護者の方々の中には、「スポ根」でスポーツを

やってきた方も、少なからずいるのではないかと思います。怒鳴られたり、しごかれたり、「水を飲むな」と指導された年代です。そんな指導を受けてきたため、私も教える立場になった頃は怒ったり、罰を与えたり、長時間同じ練習をさせたりと、自分が考える選手像に子どもを合わせようとしていた気がします。

ある日、とある指導者との対話の中で、子どもに対して大声で怒ったとき、子どもは怖がってほとんど話を聞いていないのではないかと、聞いていたとしても委縮して頭に入っていないのではないかと、いうことを共有したことがあります。つまり、指導者から言われたことを理解して自分のものにしていないのではないかと、いうことです。今は優しく丁寧に教えているかと言われると、正直、時折大声を出してしまうときもあり、反省を繰り返しています。

最後に、ある講習会で聞いた言葉を引用させていただきます。子どもの観察は一点だけに集中するのではなく「鳥の目」のように俯瞰的に観察し、時に「虫の目」のように繊細な視点で子どもに伝える。このことが大切ではないかと思っるところです。子ども一人ひとりの性格や考え方を観察し、理解できる環境、言葉遣いに注意して、子ども達の成長を見守っていきたいと感じています。



オンラインでの指導者講習会

ミニバスケットボール専門部会長 池田 郁雄

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、様々な分野で活動自粛を余儀なくされていますが、バスケットボールも同様。地区の大会を3回実施するのがやっとで、育成のための地区Development Center（ディベロップメントセンター）活動やリーグ戦、初心者向けの体験会などは開催できませんでした。そんな中、1月10日(日)に酒田地区のバスケットボールスポーツ少年団の指導者・保護者を対象とした指導者講習会を開催しました。

「1on1の練習メニュー各種と1on1を活かすためのチームオフフェンス」全国的な最近の主流」をテーマに、バスケットボール日本代表チームのサポートコーチである榎ERUTLUC（エルトラック）代表取締役の鈴木良和氏を講師としてお迎えしました。

講師の鈴木氏は「バスケットボールの家庭教師」を事業化し、全国各地で子どもたちへの指導や指導者向けの講習を行うほか、ヨーロッパやアメリカの育成環境や考え方を研究し、日本の指導場面にフィードバックされています。現在は、日本代表チームのサポートコーチ、U15・U12の育成担当コーチとして活躍されています。

鈴木氏を講師としての講習会は今年度で5回目となり、今までも「少年期の指導で留意するべき点」や「チームマネジメント」、「コーディネーショントレーニング」などを指導していただきました。日本バスケットボール協会では、中学校以下のカテゴリーにおいてゾーンディ

フェンスが禁止されています。世界的な流れでもあり、積極的な1on1ができる選手の育成、世界に通じる選手の育成、安易なゾーンディフェンスを排除し、目先の勝利にとらわれない長期的な視点に立った指導を推進していくことが目的です。今回の講習会では、こういった世界的な流れを理解したうえで、海外での育成年代指導の考え方、子どもたちが自分で判断していくための基礎を感じさせる練習メニューなどをオンラインで学びました。「Zoomを使ったオンライン講習は初めて」という参加者が多かったのですが、概ね無事に接続でき、チャットを使った質問もスムーズにできたようです。

オンライン講習では、実技を直接見ることができない、実際に体験できないといったデメリットはありますが、集合型の研修に比べ感染リスクを抑えることができる、動画等を後で確認できる、時間が合わず欠席した方へ後ほど内容を提供できる、講師の旅費・宿泊費等が節約できるといったメリットがあります。新しい生活様式の中で、面白い指導者講習会ができたのではないかと感じています。

今後も専門部会として子どもたちの競技力向上、プレイヤーズファーストな指導の一助となるよう、様々なことを企画していきたいと思えます。



ウィズ・コロナ

酒田市スポーツ少年団本部 副本部長 佐藤 正光

日頃より、酒田市スポーツ少年団活動にご理解とご協力、そしてご参加を賜り感謝と御礼を申し上げます。

2020年度を振り返ると、2019年12月に中国の武漢市で新型コロナウイルスが発生したとニュースで報じられ、瞬く間に世界の多くの国へ感染が拡大しました。日本においても2020年1月に最初の感染が報じられると各都市で感染が広まり、ここ酒田でも既に周知されている状況です。

私たちのスポーツ少年団活動においても、新年度の団員募集が思うようにできない、会場が閉鎖になっている、そして練習もできない、感染予防はどうしよう、活動が再開されても大会が開催されないなど、過去に例のない状況であり、各団は指導者や保護者共に活動する戸惑いや不安、そしてどう感染予防しながら活動していこうかと悩まれたことでしょう。

その中で、活動するためにみんなで知恵を出し合い、子ども達が少しでも活動しやすいようにと、感染予防に努めながら苦渋の判断の中で練習や各種大会の開催にご尽力を賜りましたことに重ねての感謝を申し上げます。

今年度の山形県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会でも新型コロナウイルス感染予防に関する講演が取り上げられ、大蔵村診療所内科医長の深瀬龍先生から「コロナ禍からのメッセージ」の演題で、自身が携われたコロナ感染対応や私たちへのスポーツ少年団活動での感染予防に気を付けること等の講演を賜りました。

一部を皆さんにご紹介させていただき、既に皆さんへ周知されている感染予防の「手洗い・うがい」、「マスクの正しい着用」、「密閉・密接・密集の3密を避ける」のほか、スポーツ活動の感染予防として参加前は、体調管理と感染リスクのチェックを行う。これは、感染地域への往來のほか、子ども達の体調管理はもちろん新型コロナウイルスは大人が運んでくるといふ視点から家族を含めた大人の体調管理も行うとのことです。参加中は、飛沫感染対策として3密対策を基本としてこまめな換気や十分なスペースの確保、プレーヤー以外はマスクを着用する。接触感染予防として複数人が触る場所は拭き取る。飲食した容器は持ち帰る。参加後は会場の換気清掃を行う。誰がどんな活動を行ったか記録をつける。こういった「もしもの時」に備えた対応についても触れておりました。

講演後半では、私たち大人ができることとして3点お話がありました。

1点目は、差別・偏見に対処する。これは、新型コロナウイルスは災害で感染者は被災者であり誰にも攻める権利はないとして差別・偏見を持たない・持たせない。子ども達は大人を見て真似をすることから私たち自身が子ども達に素敵な背中を見せましようということ。2点目は、子どもの不安に注意する。子どもも不安を感じているし、不安を口にできず症状で訴える子もいるため、日々の関わりで変化に気付き一緒に学びながら話すことで不安を和らげましようということ。3点目は、自身の心身に気を付けましよう



という。参加者一同が不安に思っていることについてお話しいただき、有意義な講演でした。新しい生活様式が推奨されました。今後、ワクチンの接種も本格化するようですが、私たちはこれからもウィズ・コロナとして感染予防に正しい知識を深め、地域や学校そして他の少年団との縦横のつながりを持ち、情報を共有しながら、子ども達が安全安心に活動できる環境づくりを行っていきましょう。

令和2年度 スポーツ少年団主催大会種目別結果

種目	大会名	期日	会場	結果
野球	第48回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部野球大会	7/23(休)~25(土)	松山多目的運動広場 泉小学校グラウンド 浜中小学校グラウンド 鳥海小学校グラウンド	優勝 C Jヤンキース 2位 遊佐 3位 亀ヶ崎・鳥海八幡
サッカー	第48回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部サッカー大会	7/25(土)・26(日)	庄内空港緩衝緑地運動広場	優勝 松原 2位 亀ヶ崎 3位 泉
ミニバスケットボール	第47回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部ミニバスケットボール大会	8/22(土)・23(日)	国体記念体育館	男子優勝 遊佐 2位 富士見 3位 宮野浦 女子優勝 亀ヶ崎 2位 Y U Z A 3位 若浜・陵成
卓球	第51回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部卓球大会	8/23(日)	市体育館	男子団体 優勝 琢成 2位 若浜 3位 亀ヶ崎A・遊佐町 女子団体 優勝 黒森 2位 鳥海八幡 3位 琢成・ひらた ホープス男子 優勝 後藤 大和(鳥海八幡) 2位 渡会 煌(黒森) 3位 大瀧 孝太郎(琢成)、齊藤 心平(琢成) ホープス女子 優勝 阿部 紗也(遊佐町) 2位 杉山 莉菜(松原) 3位 大場 望愛(亀ヶ崎)、日向 美羽(亀ヶ崎) カブ男子 優勝 佐藤 颯人(宮野浦) 2位 佐藤 二葉(十坂) 3位 本間 達樹(琢成)、小松 優太(富士見) カブ女子 優勝 原 幸夏(十坂) 2位 池田あゆみ(松原) 3位 高橋 想空(若浜) カブ新人男子 優勝 渡部 恭哉(若浜) 2位 川越 陽(若浜) カブ新人女子 優勝 五十嵐 有紗(若浜) 2位 菅原 梨那(富士見) 3位 佐藤 樹(琢成)、阿部 なる(若浜)
バレーボール	第41回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部バレーボール大会	8/30(日)	国体記念体育館	優勝 若浜 2位 遊佐 3位 松陵・八幡

令和2年度酒田市スポーツ少年団本部指導者研修会

2月27日(土)に、ル・ポットフーにて「令和2年度酒田市スポーツ少年団本部指導者研修会」を開催し、47名が参加しました。

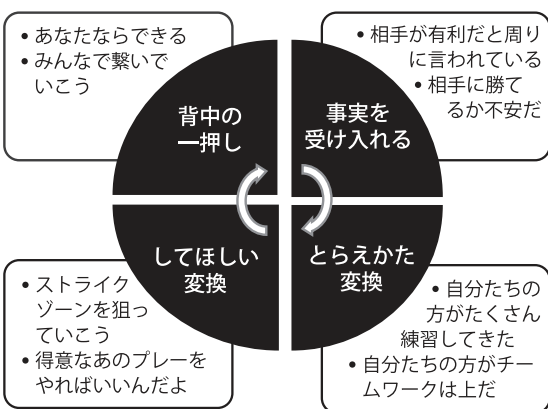
前半は、(一財)日本ペップトーク普及協会認定講師の小野弘志先生をお迎えし、「やる気を引き出す魔法の言葉」ペップトークで体罰暴言ゼロ宣言」というテーマで講演していただきました。「ペップトーク」とは、アメリカのスポーツ現場から始まった、指導者が試合前(本番前)に選手に送る「激励のショートスピーチ」であり、「前向きな背中の一押し」ともいわれています。

講演の中で、小野先生がお話しされた指導のポイントをいくつか紹介します。

- 選手が最高のプレーをするために体を鍛えて技を磨くように、子どもたちが前向きに取り組めるような「言葉の力を磨く」ことがペップトーク的な指導者の役割である。
- 事実の一つだが、解釈は無数にある。ポジティブな言葉での解釈は最初は難しいが、練習を重ねればできるようになる。
- 最初から完璧に言葉掛けできなくても良い。できなかったことに気付き、次はどのように言葉がけすれば良いのかを考え、それを積み重ねていくことが大切。

ペップトークを用いた言葉掛けの具体的な方法は、ペップトークのステップ(下図)に沿って分かりやすく指導いただき、途中で参加者同士の「宝探し(良い所探し)ゲーム」のワークを挟みながら、終始和やかに、時に情熱的な講義でした。

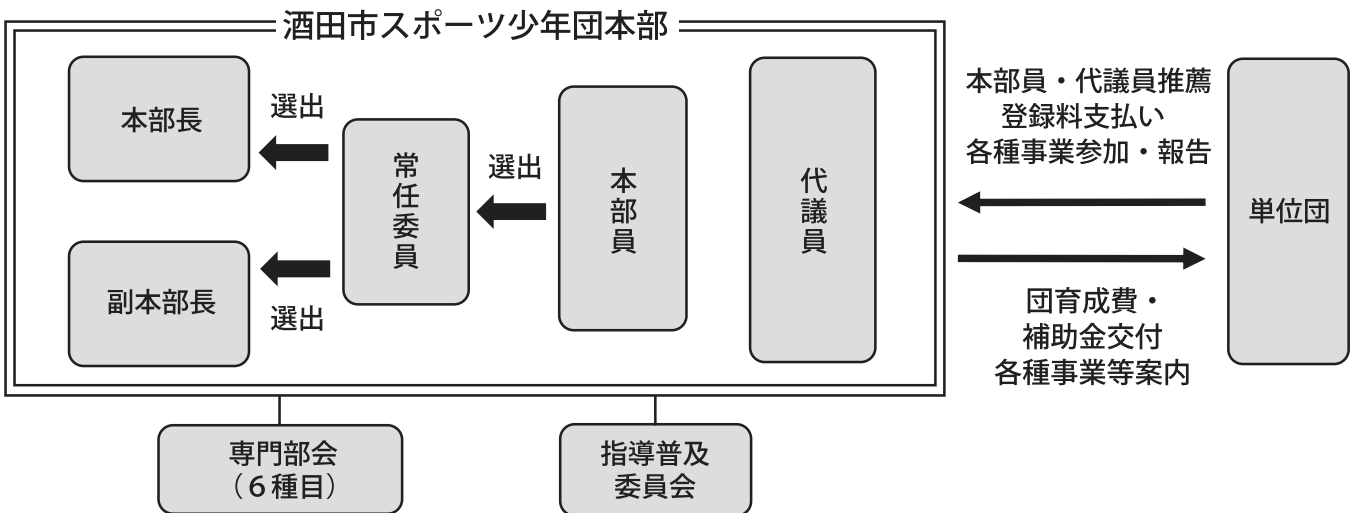
後に、「指導者がポジティブな言葉を使うことで、その効果が周りにも波及していく。それがチームを明るくし、地域も明るくすることに繋がる。」と小野先生から言葉をいただき、参加した指導者の皆さんの顔にはやる気が満ちていました。後半は、令和2年度に制度改正された「運動適性テストⅡ」の内容について、阿部好弘副本部長が解説を行いました。運動適性テストⅡから新たに追加された「観察評価」(動きの質の評価)を中心に、動画の上映、動きの実演を交えながら評価方法について解説し、参加者全員で理解を深めました。



ペップトークのステップ

酒田市スポーツ少年団本部は指導者研修会を毎年開催しています。「こんな内容の講演が聞きたい」「○○を実施してほしい」などの要望があれば、ぜひ市スポ少本部へお知らせください。

酒田市スポーツ少年団本部組織図



【本部員・代議員の役割】

- **本部員** 【役割】市スポ少本部の役員として事業の企画・運営等に携わるとともに、学区の代表として地域のスポ少行事や会議等の中心となって単位団をまとめる。
【人数】各小学校区より1名(スポーツ少年団指導者資格を有する方)
- **代議員** 【役割】単位団の代表として市スポ少本部との窓口になるとともに、本部からの各種案内を団体内で情報共有し、本部事業の参加申込の取りまとめや団育成費・補助金の受け取り等を行う。
【人数】各単位団より1名

令和2年度 事業報告

	事業名	期 日	会 場
大会	第48回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部野球大会	7月23日～25日	松山多目的運動広場他 211名
	第48回 同 サッカー大会	7月25日～26日	庄内空港緩衝緑地運動広場 176名
	第47回 同 ミニバスケットボール大会	8月22日～23日	国体記念体育館 313名
	第51回 同 卓球大会	8月23日	酒田市体育館 91名
	第41回 同 バレーボール大会	8月30日	国体記念体育館 93名
	第45回 同 剣道錬成大会【中止】	8月30日	平田B&G海洋センター体育館
	第28回県少年少女スポーツ交流大会【中止】	10月4日主会期	県内各地
	第47回酒田市・遊佐町スポーツ少年団交流大会【中止】	-	-
研修関係	第3回ジュニアスポーツフォーラム【中止】	6月28日	東京都
	第51回東北ブロックスポーツ少年大会【中止】	7月31日～8月2日	秋田県立田沢湖スポーツセンター
	第58回全国スポーツ少年大会【中止】	7月31日～8月3日	静岡県
	第56回山形県スポーツ少年大会・ジュニアリーダースクール【中止】	8月7日～9日	神室少年自然の家(真室川町)
	シニア・リーダースクール【中止】	9月19日～22日	国立中央青少年交流の家(静岡県)
	庄内地区協議会運動適性テストⅡ実技研修会	9月27日	庄内町総合体育館 33名
	スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会【中止】	10月25日	県スポーツ会館
	庄内地区協議会研修会	10月31日	響ホール(庄内町) 11名
	スタートコーチインストラクター移行研修会【中止】	10月～11月	全国各地
	スタートコーチインストラクター養成講習会【中止】	10月～11月	大阪府
県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会	11月14日	新庄市民プラザ 4名	
市スポ少本部指導者研修会	2月27日	ル・ポットフー 47名	
講習会	専門部会指導者講習会・技術指導講習会	8月16日、1月10日 2月27日	バレーボール 98名 ミニバスケットボール 20名、サッカー 15名
表彰	酒田市スポーツ少年団本部表彰式【中止】 県スポーツ少年団表彰式【中止】	4月25日 2月26日	ル・ポットフー 県スポーツ会館
会議	本部員会、常任委員・専門部会長会議、指導普及委員会 本部代議員会 ※書面決議 庄内地区協議会理事会 ※5/8開催分は書面決議 庄内地区協議会代議員会【中止】 市町村スポーツ少年団・スポーツ安全協会事務担当者研修会【中止】	随時開催 4月25日 5月8日、2月8日 5月8日 2月26日	ル・ポットフー 庄内総合支庁分庁舎他 鶴岡市小真木原総合体育館 県スポーツ会館

令和3年度 事業計画(案)

	事業名	期 日	会 場
大会	第49回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部サッカー大会	7月17日～18日	庄内空港緩衝緑地運動広場
	第49回 同 野球大会	7月24日～25日	松山多目的運動広場他
	第48回 同 ミニバスケットボール大会	8月21日～22日	国体記念体育館
	第52回 同 卓球大会	8月22日	酒田市体育館
	第42回 同 バレーボール大会	8月28日	国体記念体育館
	第46回 同 剣道錬成大会	8月29日	国体記念体育館
	第29回山形県少年少女スポーツ交流大会	10月3日主会期	県内各地
	第48回酒田市・遊佐町スポーツ少年団交流大会	未定	未定
研修関係	第4回ジュニアスポーツフォーラム	6月13日	東京都 ※オンライン参加可
	庄内地区協議会研修会	7月上旬	三川町
	第57回山形県スポーツ少年大会・ジュニアリーダースクール	7月下旬～8月上旬	置賜地区
	第52回東北ブロックスポーツ少年大会	7月31日～8月2日	国立岩手山青少年交流の家(岩手県)
	第59回全国スポーツ少年大会	8月	東京都
	シニア・リーダースクール	9月18日～21日	国立中央青少年交流の家(静岡県)
	スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会	10月	県スポーツ会館
	スタートコーチインストラクター移行研修会	10月～11月	全国各地
	スタートコーチインストラクター養成講習会	10月～11月	大阪府
	県スポ少指導者・育成母集団研修会	11月中旬	置賜地区
市スポ少本部指導者研修会	未定	未定	
講習会	専門部会指導者講習会・技術指導講習会(6種目)	未定	未定
表彰	酒田市スポーツ少年団本部表彰式	4月18日	ル・ポットフー
会議	本部員会、常任委員・専門部会長会議、指導普及委員会 本部代議員会 庄内地区協議会理事会 庄内地区協議会代議員会	随時開催 4月18日 5月7日、2月7日 5月7日	ル・ポットフー 庄内総合支庁分庁舎他 酒田市

令和2年度 酒田市スポーツ少年団本部登録団一覧表

No.	単位団 No.	少年団	代議員	団員数	指導者数	No.	単位団 No.	少年団	代議員	団員数	指導者数
1	001	琢成サッカー	佐藤 徹	14	3	42	151	宮野浦サッカー	佐藤 淳一	27	5
2	003	琢成ミニバスケットボール	齋藤 浩二	10	2	43	152	宮野浦野球	久木原 満	19	14
3	005	琢成剣道	佐藤いつ子	10	4	44	153	宮野浦ミニバスケットボール	田代 正樹	40	10
4	006	琢成卓球	加藤 弘良	14	4	45	154	宮野浦バレーボール	小寺 由一	18	3
5	011	浜田サッカー	竹内 大	11	3	46	155	宮野浦剣道	中津 治	3	2
6	012	浜田野球	菊地 真一	17	12	47	156	宮野浦卓球	阿部 哲也	5	2
7	013	浜田ミニバスケットボール	岸 幸恵	7	5	48	179	平田ミニバスケットボール	佐藤 宏明	15	7
8	039	富士見	今野 紀行	72	31	49	189	ひらた卓球	庄司 学	5	4
9	041	亀ヶ崎サッカー	林賀 一郎	35	8	50	192	鳥海野球	柴田 俊彦	11	10
10	042	亀ヶ崎野球	村上 範昭	18	14	51	194	鳥海バレーボール	白幡 春喜	13	2
11	043	亀ヶ崎ミニバスケットボール	芳賀 久男	33	6	52	196	鳥海八幡卓球	佐藤 邦之	4	6
12	044	亀ヶ崎ミニバレーボール	蛭原 秀子	10	4	53	217	アテネ体操クラブ	星川 恵美	19	2
13	045	亀ヶ崎剣道	吉川 文彦	8	2	54	237	酒田ジュニアソフトテニス	進藤 晃	21	11
14	046	亀ヶ崎卓球	木山 敏広	17	5	55	238	酒田 J r . K	大崎恵美子	11	5
15	051	松原サッカー	齋藤 智美	20	3	56	257	S R Kジュニアクラブ	富樫 隆夫	64	6
16	052	松原野球	長南八重智	28	19	57	258	S R Kキッズクラブ	後藤 良	16	3
17	053	松原ミニバスケットボール	菅原敬太郎	19	13	58	277	酒田宮野浦少林寺拳法	加藤 明男	5	3
18	054	松原バレーボール	吉泉 実	13	4	59	300	若浜卓球	渡辺 孝介	12	5
19	055	松原剣道	松田 美法	5	3	60	301	若浜サッカー	渡会 徹	27	6
20	056	松原卓球	滝澤 琢也	6	2	61	302	若浜ミニバスケットボール	宮田 崇志	27	7
21	071	松陵	高橋 大	72	19	62	304	若浜バレーボール	武田 正祐	15	4
22	081	泉学区サッカー	石川 真喜	23	6	63	308	酒田市柔道	新田 道隆	13	3
23	082	泉野球	村上 太郎	19	8	64	401	八幡バレーボール	後藤 信人	10	5
24	083	泉ミニバスケットボール	池田 郁雄	19	5	65	402	一條サッカー	富樫 浩明	12	4
25	084	泉バレーボール	長谷川 司	6	4	66	404	八幡男子ミニバスケットボール	庄司 隆	30	7
26	086	泉卓球	小笠原勝喜	7	8	67	407	Y.I.Cミニバスケットボール	池田 公平	13	9
27	099	西荒瀬	綱淵 芳幸	13	12	68	408	酒田市空手道	佐藤 英俊	10	5
28	103	新堀ミニバスケット	後藤 健一	14	5	69	502	松山剣道	三浦 均	7	4
29	104	新堀野球	太田 雅人	5	6	70	503	松山サッカー	渡部 明広	14	3
30	105	新堀剣道	齋藤 裕喜	1	6	71	504	松山ジャンプガールズミニバスケットボール	阿部 幸義	11	4
31	110	レンジャーズ野球	魚住 智寛	17	5	72	600	秋真館	土田 悟	7	4
32	119	広野	進藤 公成	21	20	73	602	南平田卓球	石黒 昌弘	1	4
33	129	浜中	菅原 功	22	9	74	605	平田ジュニアサッカークラブ	後藤 学	16	6
34	139	黒森	渡會チヅル	11	7	75	607	平田小学生陸上	斉藤 淳	76	4
35	141	十坂サッカー	高橋 優介	17	7	76	608	南平田ミニバスケットボール	菅谷 浩二	14	6
36	142	十坂野球	佐藤 健	10	7	77	701	庄内バレー道場	小野寺 昭	8	3
37	143	十坂ミニバスケ	大場 大介	15	12	78	702	TSN・Dears	酒井 健司	22	8
38	144	十坂バレーボール	加藤 裕介	8	6	79	800	東部 J B C 野球	富樫 誠	21	7
39	145	十坂剣道	佐藤 雅	3	3	80	801	CJヤンキース	森山 敏雄	22	15
40	146	十坂卓球	原 幸喜	6	5	81	802	酒南ジュニア柔道クラブ	安達 芳久	11	2
41	147	十坂キッズ	清水 和久	16	4	合 計				1,387	531

酒田市スポーツ少年団本部からのお知らせ

●運動適性テストII

令和2年度より、運動適性テストが運動適性テストIIに改定されました。

従来の運動適性テストは、速さ、距離等、「量」の評価を行うテストとなっていました。しかしながら、どのような動きをしているかといった「質」にも注目する重要性が高まってきたことから、運動適性テストIIでは日本スポーツ協会（以下JSP O）が普及・促進を行っている「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）」の内容を応用し、「走・跳・投」の基礎的動きに関する質的な評価（観察評価）を項目として採用しています。

★運動適性テストIIの特徴

●動きの「量」に加えて、動きの「質」を評価する観察評価

●今の自分の身体状態を知り、ケガの予防につながることを目的とするコンディショニングチェック

酒田市スポーツ少年団本部では、運動適性テストIIの全団員完全実施を重点事項に掲げており、テストを実施した団には補助金を交付しています。詳細については、各単位団へメールで連絡します。



▲走動作

▶跳動作



▲投動作



●スポーツ少年団指導者制度の改定

令和2年度より、スポーツ少年団の新たな指導者資格制度

「スタートコーチ（スポーツ少年団）」「コーチングアシスタント」が始まりました。どちらもJSP O公認スポーツ指導者資格となっており、4年に1度の更新が必要です。

これに伴い、スポーツ少年団への指導者登録にはJSP O公認スポーツ指導者資格の保有が必須となりました。令和5年度までは、資格の移行期間の措置として、旧指導者資格の「認定員」が保有する「スポーツリーダー」でも指導者登録することができます。

「スポーツリーダー」のみ保有する方が令和6年度以降も指導者登録を行いたい場合、「コーチングアシスタント」に資格を移行することで登録が可能になります。資格の移行は、初回は講習等が免除され、ウェブ上での手続きで移行できます。

●JSP O公認スポーツ指導者資格の取得に対する費用を補助しています

JSP O公認スポーツ指導者資格の取得には、資格登録料として1万円（更新期間4年）、初

期登録手数料として3千円の費用が発生します。

指導者並びに単位団の負担を少しでも軽減し、新指導者制度への円滑な移行を図るため、酒田市スポーツ少年団本部では、「スタートコーチ（スポーツ少年団）」「コーチングアシスタント」の資格取得に係る費用に対して左記のとおり補助を行っています。

◆補助金額／1団体につき1万円
補助期間／令和5年度まで

◆補助期間を通して各団1回限りとします。

◆初回登録から4年後の資格更新に係る費用については補助を行いません。

◆運動適性テストIIや指導者制度の改定について、詳しくはJSP Oホームページ「スポーツ少年団」を参照してください。



▲JSP Oホームページ 二次元コード

【問い合わせ・連絡先】

酒田市スポーツ少年団
本部事務局

〒998-8540

酒田市本町二丁目2番45号

酒田市教育委員会スポーツ振興課内

☎43-6651

令和2年度 各種表彰



◇山形県スポーツ少年団
功労者表彰

◆阿部 好弘
(酒田市スポ少本部)

◆川村 広道 (浜中)

◇酒田市スポーツ少年団
本部表彰

◆阿部 好弘
(酒田市スポ少本部)

◆進藤 昭吉 (広野)

◆進藤 桂 (広野)
〔敬称略〕